

残念な選択

シリーズ～福音の力～

2020/07/12

ルカによる福音書14章15～24節

食事を共にしていた客の一人は、これを聞いてイエスに、「神の国で食事をする人は、なんと幸いなことでしょう」と言った。そこで、イエスは言われた。「ある人が盛大な宴会を催そうとして、大勢の人を招き、宴会の時刻になったので、僕を送り、招いておいた人々に、『もう用意ができましたから、おいでください』と言わせた。すると皆、次々に断った。最初の人には、『畑を買ったので、見に行かねばなりません。どうか、失礼させてください』と言った。ほかの人には、『牛を二頭ずつ五組買ったので、それを調べに行くところです。どうか、失礼させてください』と言った。

また別の人は、『妻を迎えたばかりなので、行くことができません』と言った。僕は帰って、このことを主人に報告した。すると、家の主人は怒って、僕に言った。『急いで町の広場や路地へ出て行き、貧しい人、体の不自由な人、目の見えない人、足の不自由な人をここに連れて来なさい。』やがて、僕が、『御主人様、仰せのとおりにいたしました。が、まだ席があります』と言うと、主人は言った。『通りや小道に出て行き、無理にでも人々を連れて来て、この家をいっぱいにしてくれ。言うておくが、あの招かれた人たちの中で、わたしの食事を味わう者は一人もいない。』

神の国の大宴会

- 神の国に入れると思っていた人たち
 - 「ファリサイ派のある議員の家」での出来事(1)
 - 「正しい者たちが復活するとき、あなたは報われる。」(14)と言われ、自分たちのことだと思った
 - ・ ファリサイ派は“義人の復活”を信じていた
 - 「これを聞いてイエスに、『神の国で食事をする人は、なんと幸いなことでしょう』と言った。」(15)
- それに対して語られた「盛大な宴会のたとえ」
 - 「ある人が盛大な宴会を催そうとして、大勢の人を招き、宴会の時刻になったので…」
 - 当時、正式な招待は2度に分けて行われた

招待を断った人たち

- 畑を買った人

- 『畑を買ったので、見に行かねばなりません。どうか、失礼させてください』

- 牛を買った人

- 『牛を二頭ずつ五組買ったので、それを調べに行くところです。どうか、失礼させてください』

- 結婚したばかりの人

- 『妻を迎えたばかりなので、行くことができません』

- 宴会に行くより優先したいことができた

- 財産・仕事・家庭・・・
- 招かれた宴会の**価値**に気づいていない

怒った主人

「僕は帰って、このことを主人に報告した。すると、家の主人は怒って、僕に言った。『急いで町の広場や路地へ出て行き、貧しい人、体の不自由な人、目の見えない人、足の不自由な人をここに連れて来なさい。』」

- **主人の怒り**

- 既に招待していたのに断ったことへの怒り
- 宴会よりも自分たちの都合を優先したことへの怒り

- **“不遇な人々”を連れてこい**

- せっかく準備した宴会を無駄にしたくない
- 主人の“不遇な人々”への憐み

更に連れてこられる人々

「やがて、僕が、『御主人様、仰せのとおりにいたしました、が、まだ席があります』と言うと、主人は言った。『通りや小道に出て行き、無理にでも人々を連れて来て、この家をいっぱいにしてくれ。』」

- “不遇な人々”を招いてもまだ空席がある
- 誰でもよいから連れてこい！
 - 「通り」は「街道」、「小道」は「垣根」(新改訳)
 - 街の外にいる人々の意
- 「この家をいっぱいにしてくれ」
 - 主人の熱意を感じる

福音の広がりを暗示するたとえ

招かれていた
が拒んだ人々



ユダヤ人

連れてこられ
た不遇な人々



イエス様に招
かれた人々

町の外から連れ
てこられた人々



異邦人

なぜ福音を拒むのか

- 「失礼させてください」は言い訳するの意
 - 畑を買った人
 - 牛を買った人
 - 結婚したばかりの人
- この世で幸せを得ている
 - 富・成功・満足
 - 実は一時的なもの
- すべての人は神の国の宴会に招かれている
 - 実は畑も牛も結婚も神様が与えてくださっている
 - 自分で手に入れたかのように思い上がっている
 - 主人(創造主)からの招待は今も続いている